

南方熊楠全集

別卷
2

平凡社

南方熊楠全集（全一二巻）

別巻第二日記・年譜・著述目録・総索引

昭和五〇年八月三〇日 初版第一刷発行

著者 南方熊楠

発行者 下中邦彦

発行所 株式会社 平凡社

東京都千代田区四番町四番地

郵便番号 一〇〇二

電話 二二六五〇四五

振替 東京 二九六三九

印刷 東洋印刷株式会社
製本 株式会社石津製本所

落丁・乱丁本は小社サービス課にて
お取替えします（送料は小社負担）。

凡 例

一、本全集は、南方熊楠が公表した論考、随筆、英文著述、ならびに未公表の論考、手稿類などを集大成することを期した。したがって生前刊行された『南方閑話』『南方随筆』『続南方随筆』の三冊の単行本、および死後刊行された乾元社版『南方熊楠全集』に比し、以下の諸方針により、大幅に増補されている。

1. 国内で、著書として、あるいは雑誌に発表された文章は、内容がはなはだしく重複する一、二の例外を除き、すべて収録する。また新聞に掲載された文章も、主要なものには収録する。

2. 外国の刊行物に発表された英文著述および未公表の英文論考は原文で収録する。その校訂には監修者の一人である岩村忍が当たる。

3. 書簡は、学術的および伝記的に重要な内容をもつものを、入手しうる限り、完全な形で収録する。

4. その他、未公表の論考、手稿類、日記の一部、年譜、著述目録、索引を付載する。

5. 以上の諸資料のほとんどは南方家に所蔵されていたもので、それらの整理には監修者の一人である岡本清造が当たる。

i 凡 例

二、表記は原則として「現代かなづかい」に改め、送りがなも（有た↓あつた 名く↓名づく 息ず↓息ます など）のように）読解の便をはかって付加し、大部分の接続詞、副詞、助詞なども、漢字をかな書きに改めた。また、カタカナ・漢字混交文は、特殊な植物学論文（横書き）を除き、ひらがな・漢字混交文に改めた。

三、漢字は、当用漢字、同補正案、人名用別表にある字体は、これを使用し、また一部の俗字、同字などで現在常用されないものは、通用のものに改めた（恠↓怪 耻↓恥 咀↓詛 など）。ただ、著者独特の書きぐせである用字、用語は、肉筆手簡、初出雑誌などと校合のうえ、残したものが少なくない（たとえば愛憎（愛想）、居多（許多）などの用語はそのまま残し、臆と憶、希と稀、注と註の混用などはあえて統一しない）。

四、引用文は、著者が内容をとって略述し、あるいは書き改めたと思われる場合を除き、可能な限り原典と照合、校訂した。また漢文の引用文は「読み下し文」に改め、この部分は、一般の「」に対し小さい「」で区別した。読み下しには飯倉照平が当たり、監修者の一人である入矢義高が校閲した。

五、外国人名・地名などの固有名詞および若干の普通名詞で、現在常用されない漢字表記は、カタカナに改めた。ただし、初出にルビを付した出典名は漢字表記のままとした。また、これらの出典の訳名および当初からのカタカナ表記は論文によってかなり異なるがあるが、これらは少数の例外を除いて、同一論文内で統一するにとどめた。なお、デ↓ジ ヅ↓ズ などの書き改めは行なった。

六、書名および雑誌名には『』、論文名には「」を付し、欧文では、著者が多く用いた方式に従い、書名は・・・論文名は・・・に統一した。なお巻号数、頁数を表わす漢数字は、十方式を用いず一〇方式とした。

七、ルビは、既刊文献にあつて著者独特の読みぐせと思われるものは、これを生かし、さらに一般の難読語にも、なるべくルビをつけた。句読点、改行、字下り、小字の扱いなどは、読解の便をはかってあらたに整理した。

八、既刊文献における削除部分、欠字および伏字は、可能な限り復原した。なお、原典の欠字と判明したものは□□、復原不可能の箇所は××で残した。

九、本文中の校注補訂は「」をもって示し、著者の手沢本・手沢雑誌における書き込みを本文中に挿入した場合は、〔著者か
きこみ〕と特記した。また、各論文の発表または執筆年月日、掲載雑誌または新聞名、巻号数は、文章の末尾に付記

した。以上の諸校訂には飯倉照平が当たった。なお、特に必要な場合には、使用したテキストに関し、論文の末尾に注記を付した。

本書（別巻第二）は、ロンドン日記・論考補遺のほか、年譜・著述目録・総索引（付収録著述索引）を収録する。南方熊楠の日記は、在英時代より帰国後の方がやや記述が精細で、すべて南方家に保存されており、また、不完全ではあるが、大学予備門時代や在米時代のものも残されている。しかし、余りにも膨大で、かつ極めて難読なため、一部分しか解説が進められていない。在英時代は、資料的な書簡がほとんど残されていない時期なので、御遺族の諒承を得て日記を収録した。「ロンドン日記」という表題は編集部の付したものである。解説には監修者岡本清造があたり、校訂者、編集部も協力したが、なお若干の解説不能の箇所を残さざるを得なかった。一八九六年の日記は欠本であるが、雑賀貞次郎氏が部分的に筆写した「日記抄」が残されているので、末尾に収録した。カタカナ混りをひらがな混りに改め、現代かなづかい、当用漢字を使用したのは書簡の場合と同じであるが、日記特有の簡潔な文体を生かすために、送りがなは（不統一はあるが）原文のまま手を加えず、接続詞、副詞その他多くの漢字も原文のまま残した。なお詳細については、「ロンドン日記」扉裏の凡例を参照されたい。

論考補遺には、別巻第一の編集以後発見された雑誌掲載の文章を収録した。総括表題の「小篇」は編集部が付したものである。また、今回完成稿の発見された未発表草稿「The Traces of Cannibalism in the Japanese Records」も併録したが、その校訂は、監修者岩村忍によるものである。

年譜、著述目録、総索引ならびに「ロンドン日記」末尾の地図は、多くの方の御協力と、多くの著述・記録から裨益をうけたが、最終的には編集部責任において作製した。なお、それぞれの凡例、後記等を参照されたい。

総索引、著述目録ならびに論考補遺中の英文のページは、横組、左開きとした。

目次

凡例

ロンドン日記 3

論考補遺

英国滞在中の徳川頼倫侯 237

小 篇 239

鉄という名の古意 239

自ら鳴る鐘 240

箱根の幽霊屋 240

ちかぼし 240

童話桃太郎 241

「むすび考」補 242

THE TRACES OF CANNIBALISM IN THE JAPANESE RECORDS 252

年 譜 255

総索引 1

収録著述索引 158

著述目録 175

南方熊楠全集 別卷第二

ロンドン日記

凡 例

一、「ロンドン日記」は、南方熊楠のロンドン滞在中（一八九二—一九〇〇）の日記を解説し、収録したものである。

二、採集植物標品数や蔵書数の一覧表、日々の支出を書きとめた表など、断片的なメモの類も、解説が可能な限り、原文のまま収録した。意味のわかりにくい数字には、「計」「高」などを補った。

三、公刊の日記帳が使われているが、南方は時々、日記帳に印刷された日付を無視して書き、「之は〇〇日の記事也」と注記していることがある。このような記事については、正しい日付に移して収録した。

四、○＋△などの記号は、意味不明のものも多いが、そのまま掲げた。

五、日本人名の表記に関しては、同一人物でありながら別字が宛てられているものも、原文のままとし、ごく少数の明確な誤記のみを、「」で訂正するにとどめた。

六、外国人名・地名などのカタカナ表記は、ロッキエル・ロキヤル、ケンシングトン園—ケンシントン・ガーズンスのように、じつに多様であるが、すべて原文のままとした。

七、最後に掲げた「ロンドン市街図」中の、南方熊楠の住所は、「ロンドン日記」と英文論考によって確定できる地名と日付のみを記し、不確実な日付は空欄にした。

一八九二年（明治二十五年）

九月二十一日 水 陰

午下、船リバールプールに着、三時頃上陸。税関及旅宿等の世話をスコッチ種の一老人（船の器関に油を注ぐことを業とするものなり。ニウファウンドランドよりニウヨルクに來り、それより病にてスコットランドに帰る也。名不知）世話してくれる。礼謝し、何も受^{うけ}ずに去れり。

Regent St. n. 24 に宿す。

九月二十二日 木 陰

終日在宿。

九月二十三日 金 晴

午後、税関等に趣き、荷物受出の事に奔走す。

九月二十四日 土 快

朝、車を備へ、Dockに趣き荷物を受取り、ロンドン及ノルス・ウエストールン鉄道にてロンドンに送る。

常楠及蓑田氏へ状出す。

九月二十五日 日

終日在寓。

九月二十六日 月

午後四時リヴァールプール発、九時頃ロンドン着。Euston Square 24. に宿す。

九月二十七日 火 陰

朝歩して中井芳楠氏を正金銀行に訪う。書状數通を得。

九月二十八日 水

午後、中井氏を正金銀行に訪う。書状常楠より一を得。此日、銀行へ行く途中、昨日所得常楠状を読、父大病の由を知り、銀行出て後、車中にて今日所得父の計を読む。

高鹿和一郎、飯島善太郎、三好太郎、高野礼太郎、佐藤寅次郎、羽山蕃次郎、野尻貞一、喜多幅武三郎、吉田永次郎、蓑田長政及弟へ状出す。

九月二十九日 木 雨

夜、中井芳楠氏をStreatham Hill (Tierney Road 1027) に訪う。十時過帰る。中村貞太郎君ステーション迄送らる。

十月一日 土

夜、中井芳楠君を其宅に訪。公使の宴に赴き不在、因て中村氏と話し帰らんとするとき、正に中井氏夫婦帰

来る。すなわち立ち話し帰る。

十月三日 月

夜、中井氏を其宅に訪う。十時過、帰宅の途に上る。

十一月十日 木

蓑田長政より状一着。

十一月十四日 月 陰

正金銀行支店に行、中井氏に面す。

常楠状四通（内に封入佐藤氏状一）、羽山氏状一、高

野氏状一、蓑田氏状一、高鹿氏状一受取る。

部屋三階へかえる、一週間食付十三志^{シリシ}、食無しは十

五志也。

十一月十五日 火

朝常楠へ状一出す（十六日朝出）。

十一月十八日 金

佐藤、高野、高鹿氏へ状各一、常楠へ一出す。羽山氏

へ状一出す（中に中松氏への状一入る）。

十一月二十四日 木

n. 7 *Lecanactis floridensis*, Nyl.

n. 12 *Stigmatidium nigro-cinctulum*, Nyl.

此二種予キイウエストにてとる所の新種也。米国カル
キンス氏より通知さる。

十一月二十六日 土

中井氏より来状。

十二月三日 土 雨

夜雨、中井氏を訪。公使館へ行、御両人共不在。中村

氏と話して帰んとするに及び、御兩人帰来らる。因て

一寸立談して帰る。

十二月十二日 月

Rabenhost's *Cladoniae Europae Supplementum* I. and

Nees von Esenbeck's *System der Pilze, from Fried-*

länder and Sohn, arrive.

中村錠太郎氏より状一来る。

十二月十七日 土

常楠より書留着。金百五十円（二十一磅八志二片^{ギンド}）正

金銀行証封入。

状末に堀尾権太郎氏死去の由載たり。

十二月十九日 月

高鹿氏より状一着。

十二月二十日 火 陰

常楠へ状二、佐藤氏へ状一出す。高鹿へも一出す。

米国ニウヨルク、ドクトル・アレン氏へ、フロリダ及
キューバ採集カラ科植物三種九十品おくる。

十二月二十一日 水

今日より部屋三階へ転ず。壹周間十三志也。これは□
□_三の記也。15めしつかず、13めしつく。

十二月二十二日 木

夜、中井氏を訪う、不在。令闥及中村、辰巳二氏居り、
十一時後迄談て歸る。

十二月二十三日 金

夜、中村錠太郎氏来訪。植物標品を觀、十一時に到り
歸る。

一八九三年 (明治二十六年)

一月一日 日 雪

一月二日 月 快晴

一月四日 水 雪

一月五日 木 霧

朝、茂木寅次郎氏状一を受。

一月六日 金

蕨田長政氏へ状一出す。

常楠へ状一出す。

一月十一日 水

中井氏より廻送、常楠状一、羽山蕃次郎氏状一。

一月二十一日 土

This evening, Visited Y. Nakai, Esq., talked till 10.
常楠状一書留(十三磅七志入_{ポンド})及『風俗画報』二冊受。
中井氏話に、昨夜野田氏(トルコに教え居たる人)来
談せりと。

一月二十三日 月

Dr. T. F. Allen of New York remitted \$ 5.00 for

my collection of 90 specimens of 3 Characeous species sent last month. He determined

- A. *Nitella tenuissima* Fl.
- B. *Chara gymnopus* var. Fl.
- C. *Chara gymnopus* var. *fertilissima*? Cuba

一月二十四日 火

Lend to W. M. Calkins the following lichenes

- 1. On *Magnolia* bark, Fla.
- 2. Fuji On trees *Alectoria* shuder
- 3. Do. Do. stouter—white
- 4. " " Brown
- 5. *Pilophoron* sp. Fuji
- 6. *Stereocaulon* sp. Fuji
- 7. On bark of *Pinus* yellow Kii
- 8. On *Imprica cerifera* Fla.
- 9. *Cladonia squamosa*, *macrophylla*

一月二十六日 木

養田長政氏より状一受。

一月二十八日 土

養田氏に状一出す。

一月三十日 月

養田氏へ状一出す。博言字を同氏今年より修んとに付、其忠告也。

Breakf.: Ham and Eggs and Cof. Dinner: Soup and Turnip, Goose Liver and coffee. 6 Cigars.

一月三十一日 火

東京植物学会へ *Polyporus cinnabarinus* へ *Ramalina reticulata* を送る。

Breakf.: Ham and Eggs and Cof. Dinner: Carrey and Coffee. 9 Cig.

二月一日 水 半晴

1 Coco and Bread.

二月二日 木 大陰

常備く書留状一出す。

Dinner: Steak and Cocos. Breakf.: Ham and Eggs. 3 Cigars, 2 Beer, 2 Sausages.

1 Lett. London, 1 Lett. Japan Regist., 2 America.

二月三日 金

Breakfast: Ham et Eggs, Coffee.

1 Letter America, 1 Letter London.

二月四日 土 陰

Breakfast: Ham, Eggs, Coffee. Supper: Minced Beef and Potatoes, Coffee.

1 Letter London.

二月五日 日

2 Envelopes.

Dinner : Chopped Beef and Pot., Coffee. Coffee and 4 morphin, 8 Cigars.

二月六日 月

General Works 2

Naraulosm..... 4

Imarnae 2

Algae 11

Charado 2

Lichenes 2

Fungi 12

35 Arten

The above number of Cryptogamic Works are in my hand up to the date.

2 Beer. Dinner : Beef, Pot., Turn, Coffee. Coffee and 4 morphin, 8 Cigars, 2 Lemonade.

2 Letters : 1 London, 1 U. S.

二月七日 火

Dinner : Carrey and Coffee. Muffin, Coffee, Peas and 2 Sausages and Eggs, 3 Beers, 6 Cigars.

二月八日 水 晴

Dinner : Steak and Coffee. Supp. : 3 muffin. 2 Beer, 4 Sausages, 5 Cigars.

二月九日 木

Dispatch a letter registered to Tsunegusu.

二月二十日 月

今夜四階に転宿、宿主手伝わる。

二月二十一日 火

昨夜四階に転ず。一週間五志。

二月二十六日 日

4 Cigars. Breakf. : Ham and Eggs, Coffee and R. Br. 2.

二月二十七日 月

前週の始月曜日に室を四階に移す。一週間五志のきめ也。

7 Cigars, Meat and Coffee.

二月二十八日 火

A letter fr. W. M. Calkins, inclosing 2 Pertusarias, 5 cigars. Coffee and Ham and Eggs. Coffee and round bread.

1 paper, 1 envelope.

二月一日 水

Stop smoking.

Breakf. : Ham, Eggs, Coffee. 3 Cigars.

三月一日 木

2 Collars received.

三月三日 金

常楠より状一着。

夜カシヨー氏を訪う。

Breakf. : Ham and Eggs, Coffee. Coffee and Bread and Butter, 2 Bottle Beer.

三月四日 土

Visited Brit. Museum with Mr. Nakamura the evening.

Breakf. : Coffee, Ham and Eggs. Supper : 2 dishes, coffee and Bread. 4 cigars Paid 1s.

三月五日 日

All day and night in bed.

三月六日 月

佐藤寅次郎氏状一來る。

Breakf. : Ham and Eggs, Bread, Coffee. Supp. : Beef-steak Coffee, Bread.

3½d. stamps due.

三月七日 火

高野礼太郎状一、常楠書留状一受。

Nothing had at home :

三月八日 水

Nothing had at home !

三月九日 木 快晴

Nothing had at home ! but one cup coffee at ½ past 10 in the evening.

夜カシヨー氏を訪、俱にブリチッシュ・シネジウムを見る。

常楠へ状一、羽山氏状一出す。

中井氏令夫人へスタンプ四十二枚を呈す。

三月十日 金 快

夜、中井氏を訪、鍵置忘れ室に入る不能、戸外に臥す。

江聖聡より、昨夏俱にとる所写真一枚、状一通及茂木氏状一送り来る。広東省広州府新寧県土名湍芬山太洋義村江世平之子。

Breakf. : Ham and Eggs, Coffee.

3 Envelopes, 5 papers.

6d. Carriage charge Mr. Lightstone due me.

三月十一日 土 快

Slept while half day and night.

116 Key paid. Washings : 1 Collar, 1 shirt, 1 drawers. 8d. ½.

Ham and Eggs, Coffee.